

その1. 住棟審査用

RC 共同住宅等 (住棟用)

(第一面)

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
1. 劣化対策等級 (構造躯体等)					
2. 耐震性 (倒壊等防止)					
4. 維持管理更新の容易性 (共用配管) (ガス管を除く) ①維持管理等級 (共用排水管) ②更新対策 (共用排水管)					
5. 高齢者等対策 (共用部分)					
6. 省エネルギー対策					

その2. 住戸審査用

RC 共同住宅等（住戸用）

（第二面）

住戸番号	
建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
3. 可変性					
4. 維持管理 更新の容易性 （専用配管） （ガス管を除く）					
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能 等級】  地域の区分 （ ）  【一次エネルギー消費量等級】					
7. 住宅の規模					
8. 維持保全の方法					
9. 資金計画					
10. 居住環境への配慮					
11. 自然災害への配慮					

[備考]

1. この様式は、必要な範囲内で、個別の審査において詳細に設定することができます。ただし、既存の項目を削除することはできません。
2. 様式内の欄に記載事項が入らない場合は、別紙によることができます。この場合にあつては、別紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号等を記載してください。
3. 「その2」は審査対象住戸ごとの記載となりますが、設計内容が同一である場合は、同一様式内に記載することができます。
4. 「住戸番号」欄には、当該住戸が特定できる番号を記載してください。
5. 「設計者氏名」欄には、設計内容の問い合わせ等に対応できるこの書類の作成責任者の氏名を記載してください。
6. 「審査員氏名」欄には、登録住宅性能評価機関における審査の場合にあつては、審査を行った審査員の氏名を記載してください。
7. 「確認項目」欄には、認定基準を満たすうえで確認すべき項目を記載してください。
8. 「設計内容説明欄」の「項目」欄には、審査の根拠となる設計内容の項目を記載してください。
9. 「設計内容説明欄」の「設計内容」欄には、建築物の設計内容のうち、審査の根拠となる具体の部材、設備等の名称、数量、寸法、性能・品質を特定する認定等の名称及び番号、構成方法、接合方法その他事項を記載してください。
10. 「設計内容説明欄」の「記載図書」欄には、「設計内容」欄に記載した事項が記載されている平面図、立面図、断面図、伏図、構造詳細図、仕様書等の具体の設計図書の名称を記載してください。また、同一名称の設計図書が複数にわたる場合は、対象となる図面番号等を記載してください。
11. 「設計内容確認欄」は、審査者記入欄です。